



平成 30 年 6 月 26 日

**理学療法学科および作業療法学科で学ぶ学生を対象とした
「ロボットスーツHAL®の説明・装着実習会」の開催について
in 島根県浜田市**

情報通信事業を展開する株式会社エネルギア・コミュニケーションズ（略称：エネコム、本社：広島市中区、取締役社長：熊谷 鋭）は、医療・介護用ロボットスーツを開発した CYBERDYNE 株式会社（本社：茨城県つくば市、CEO：山海 嘉之）と提携し、『ロボットスーツ HAL®』を病院・福祉施設さま等へご紹介しています。

このたび「学校法人 同志舎 リハビリテーションカレッジ島根（理事長：岩本 百合雄）」さまの理学療法学科および作業療法学科の学生（33 名）に対し、2 種類のロボットを実際に装着していただきます。

(1) 自立支援用単関節タイプ

運動機能に障害がある方への身体機能の改善・補助・拡張・再生や、足腰の弱った方などへの体幹・下肢機能の向上を促進します。

(2) 自立支援用腰タイプ

足腰の弱った方などの体幹・下肢機能の向上を促進します。装着して体幹動作や立ち座り動作を繰り返すことによって身体そのものの機能回復を促すので、HAL®を外した状態での自立度を高めることができます。

学生の皆さまに先端のロボット医療福祉機器を体験してもらうことで、医療・介護の知識を深めるよい機会になると考えています。

記

1. 実演会開催日時

平成 30 年 7 月 4 日（水） 15 時 00 分～16 時 30 分 ※授業時間

2. 開催場所

学校法人 同志舎

『リハビリテーションカレッジ島根』（島根県浜田市三隅町古市場 2086-1 番地）

3. 対 象

理学療法学科 19 名

作業療法学科 14 名

4. 『ロボットスーツ HAL®(ハル)』の概要

(1) 『ロボットスーツHAL®』について

『ロボットスーツHAL®』は、CYBERDYNE株式会社が研究・開発、製造、販売するサイボーグ型ロボットスーツで、身体機能を改善・補助・拡張・再生することができます。

『ロボットスーツHAL®』を装着することにより、「人」、「機械」、「情報」を融合させ、①病

気や事故により身体の不自由な方の身体機能を改善したり、②介護現場や工場・建設現場などで装着者の動きをサポートし腰の負荷を低減して動きやすくするなど、医療・介護福祉・重作業の分野で活用されています。

(2) 『ロボットスーツHAL®』の特徴

人が筋肉を動かそうとしたとき、脳から運動ニューロンを介して筋肉に神経信号を伝え、筋骨格系を動作させますが、その際に微弱な生体電位信号が皮膚表面に現れます。『ロボットスーツHAL®』は、この信号を装着者の皮膚表面に貼り付けたセンサーで読み取り、同HAL®のパワーユニットを制御し、装着者の意思に応じた動作を支援します。

『ロボットスーツHAL®』は、上記の生体電位信号を検出し、人間の思い通りに動作する「サイバニック随意制御システム」と、人間のような動作を実現する「サイバニック自律制御システム」の二つの制御系から構成されています。

以 上

※『ロボットスーツ HAL®』は、CYBERDYNE 株式会社の登録商標です。

【この件に関するお問合せ先】

株式会社エネルギア・コミュニケーションズ

新サービス推進プロジェクト 大久保 TEL : 082 (247) 8511

島根支店 米 田 TEL : 0852 (22) 9881